

2. 事業の概要

(1) 水道事業指針	15
(2) 基本計画	16
(3) 福島市上水道施設概要図	16
(4) 水道事業概要	17
(5) 主要事業	19

2. 事業の概要

福島市の水道事業

本市の水道は、明治11年湧水を利用した簡易水道として市民の日常の用水を供給してきたが、水源地の水量不足と衛生面から上水道布設の要望が高まり、大正14年4月阿武隈川を水源とする計画給水人口50,000人、計画1日最大給水量5,550m³の規模で供給を開始した。

その後、市政の進展と近隣町村の合併、生活様式の変化等に対応するため、昭和22年の第1次拡張事業から7次にわたる拡張事業を実施し、主要水源施設である渡利浄水場の増補改良工事をはじめとした新たな水源開発を行い、供給量の増加と給水区域の拡大を図ってきた。

しかし、第1次から第7次にわたる拡張事業の間に開発した水源は地下水等が主であり、小規模水源では将来の水需要を賄うことができないため、長期的な展望に立ち、摺上川ダムにおける水源の確保に取り組むとともに、福島地方水道用水供給企業団からの受水を基本とした第8次拡張事業を平成元年から実施してきた。

第8次拡張事業では受・配水池や送・配水管等の整備を進め、その結果、平成19年度に本格受水を迎えることとなった。同時に創設から本市の主要施設であった渡利浄水場を廃止した。

平成20年7月には飯野町との合併、平成21年度には、鳥川配水池の完成をもって、創設から8次にわたる拡張事業が完了した。

これにより、本市の水道水は現在、摺上川ダムを水源とする福島地方水道用水供給企業団（すりかみ浄水場）で適切に処理された浄水を5つの施設（北部配水池、中央部受水池、南部受水池、鳥川配水池、飯野受水池）で受水し、供給している。

（１） 水道事業指針〔ふくしま水道事業ビジョン（福島市水道事業基本計画2016）〕

① 基本理念

「いのちの水」を絶やすことなく信頼され親しまれる水道に向けて、次の100年へ挑戦します。

② 基本方針

ア 安全でおいしい水の供給

水質管理を徹底し、いつでも良質で安全でおいしい水を供給できる水道を目指します。

イ 災害に強い水道の構築

適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

ウ 持続可能な水道経営

お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

エ 地球にやさしい水道へ挑戦

良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。

③ 計画期間

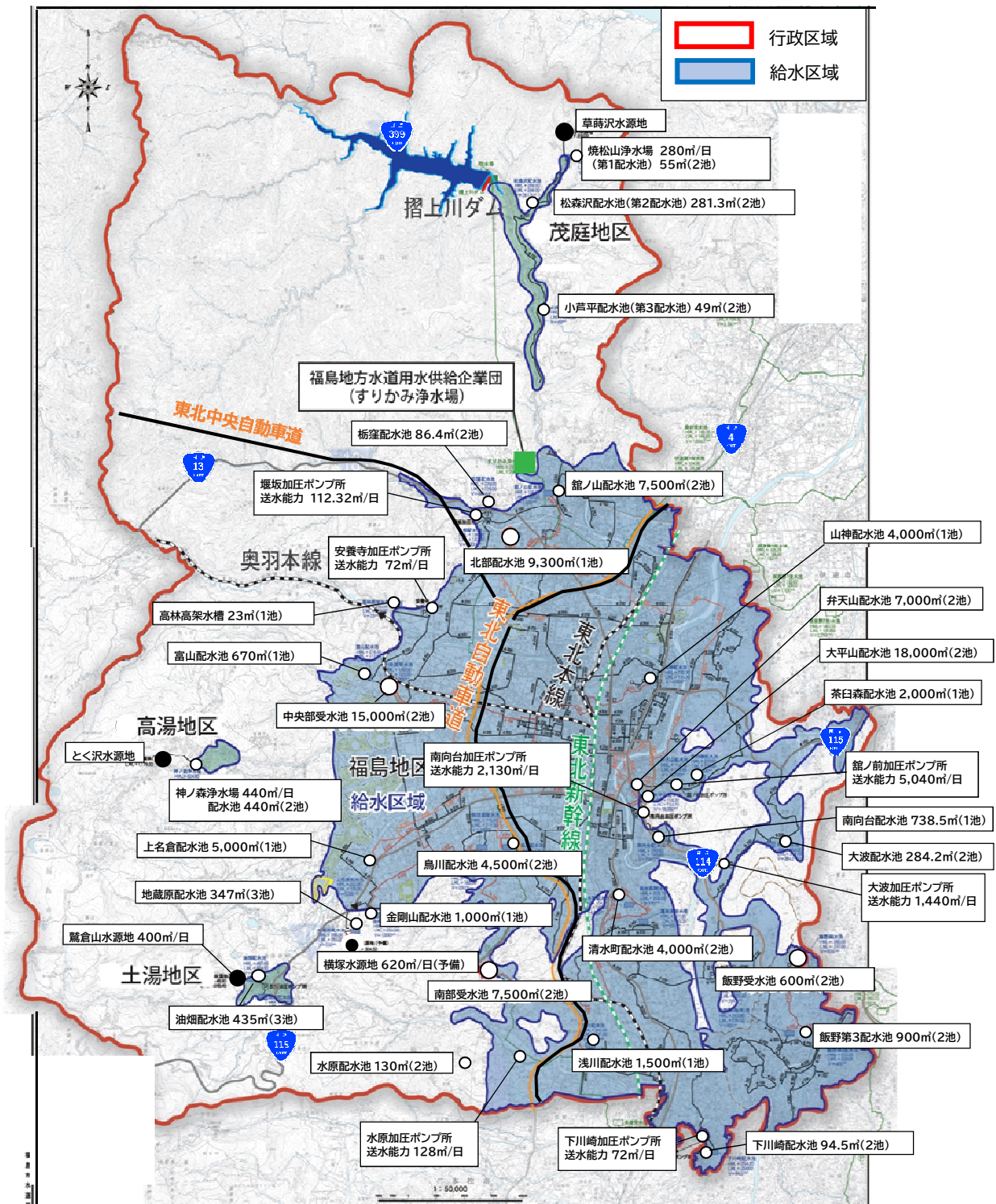
平成28年度から令和7年度までの10年間

(2) 基本計画

名 称	計 画 給 水 人 口	計画一日最大給水量	計画一人一日最大給水量
福島市上水道事業	282,000人	99,000m ³	350ℓ

※1 基本計画については、認可の内容を記載。

(3) 福島市上水道施設概要図



(4) 水道事業概要

令和6年度の水道事業は、「第6次福島市総合計画」に掲げる「ライフラインの災害対策の強化」として、重要施設となる基幹施設、基幹管路の耐震化事業に、引き続き集中的に取り組んだ。

また、「ふくしま水道事業ビジョン」の基本方針である「安全でおいしい水の供給」、「災害に強い水道の構築」、「持続可能な水道経営」、「地球にやさしい水道へ挑戦」に向けて施策・事業を展開し、水道水の安定供給と健全な経営の確立に努めた。

主な事業として、「災害に強い水道の構築」を図るため、新たに土湯地区水道施設整備事業に取り組んだ。土湯温泉町地区において、自己水源の水量の不安定を解消し、施設の耐震化を図るため、福島地方水道用水供給企業団（摺上川ダム）からの供給へ切り替え、令和10年度の給水開始を目指し、初年度の令和6年度は、用地測量及び買収と設計を進めた。

維持管理としては、遊休資産を整理し活用を図るため、旧渡利浄水場の施設解体に着手するなど、用途廃止施設整理事業に取り組むとともに、受配水池の修繕や管路の更生により長寿命化へも取り組み、アセットマネジメントを実践した。

「持続可能な水道経営」に向けて、人工衛星画像とAIを活用した漏水リスク評価を反映し、漏水調査を実施した結果、漏水発見率が向上し、有収率が上昇した。また、目視点検では確認できない水管橋をドローンにより点検するなど、ICTやデジタル技術を積極的に活用し、効率的かつ効果的な事業実施に努めた。

経営の状況は、主に人口減少の影響により、家庭をはじめ多くの業態で使用水量が減少した結果、給水収益が減少した。一方、支出においては、用途廃止整理事業に伴い資産減耗費が増加したが、適正な事務執行に努めた結果、予算額を上回る純利益を確保した。

今後も、人口減少や、建設資材の高騰、労務単価の上昇など、社会情勢と経済状況の変化を注視しながら、水道事業に与える影響を見極め、安全安心でおいしい水道水の安定供給と健全経営に努める。

令和6年度決算の概要は以下のとおりである。

① 業務の状況

ア 給水人口及び戸数

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減	増減率(%)
給水人口(人)	263,714	266,859	△3,145	△1.2
給水戸数(戸)	128,926	128,776	150	0.1
普及率(%)	98.0	97.9	0.1	—

イ 配水量及び有収水量 (単位 m³)

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減	増減率(%)
年間総配水量	29,030,564	29,707,244	△676,680	△2.3
1日最大配水量	85,574	87,409	△1,835	△2.1
1日平均配水量	79,536	81,167	△1,631	△2.0
年間総有収水量	26,030,231	26,395,992	△365,761	△1.4

ウ 有収率 (単位 %)

令和6年度	令和5年度	対前年度増減(pt)
89.7	88.9	0.8

エ 供給単価と給水原価 (単位 円)

供給単価	給水原価	供給損益
241.58	240.14	1.44

(有収水量1 m³あたり)

(5) 主要事業

① 老朽管更新事業（ダクティル鋳鉄管）

本事業は、経年劣化が進み、強度、耐震性に劣る基幹管路（布設後30年以上経過したダクティル鋳鉄管）を対象に生活基盤施設耐震化等交付金事業として更新を行うものである。

総事業費	6,862,836千円	
事業期間	平成25～令和13年度（19年間）	
事業内容	配水管布設 ダクティル鋳鉄管（NS・GX・PN） φ200～1,000mm 24,045m 実施設計（推進工）	
令和5年までの 実施内容	事業費	3,391,473千円
	事業内容	配水管布設 ダクティル鋳鉄管（NS・GX・PN） φ200～600mm 12,735m 実施設計（推進工）
令和6年度 実施内容	事業費	911,835千円
	事業内容	配水管布設 ダクティル鋳鉄管（NS・GX） φ200～600mm 955m
今後の実施見込 （～令和13年度）	事業費	2,559,528千円
	事業内容	配水管布設 ダクティル鋳鉄管（NS・GX） φ200～1,000mm 10,355m

② 水管橋耐震化等事業

本事業は、経年劣化が進み、強度、耐震性に劣る水管橋（布設後40年以上が経過した水管橋）を対象に生活基盤施設耐震化等交付金事業として耐震補強を行うものである。

総事業費	354,996千円	
事業期間	令和4～7年度（4年間）	
事業内容	阿武隈川水管橋 橋脚耐震補強 橋脚2脚	
令和5年までの 実施内容	事業費	144,910千円
	事業内容	進入路工・橋脚耐震補強
令和6年度 実施内容	事業費	167,007千円
	事業内容	橋脚耐震補強
今後の実施見込 （～令和7年度）	事業費	41,079千円
	事業内容	橋脚耐震補強

③ 簡易水道等施設整備事業

本事業は、旧茂庭地区簡易水道施設において、経年劣化が進み、強度、耐震性に劣る管路（布設後20年以上経過した管路）を対象に簡易水道等施設整備国庫補助事業として更新を行うものである。

総事業費	62,929千円	
事業期間	令和5～令和6年度（2年間）	
事業内容	導水管布設 ダクティル鉄管（GX） φ100mm 726m	
令和5年度までの 実施内容	事業費	24,178千円
	事業内容	導水管布設 ダクティル鉄管（GX） φ100mm 348m
令和6年度 実施内容 （事業完了）	事業費	36,751千円
	事業内容	導水管布設 ダクティル鉄管（GX） φ100mm 378m

④ 漏水調査事業

配・給水管路を路面及び戸別に漏水音聴調査等を実施し、漏水の早期発見と迅速な対処に努めている。

年度 区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度計画
漏水調査距離（km）	970	950	940	940	1,010	990
漏水発見件数（件）	271	184	259	103	365	
推定漏水量（m ³ /年）	2,090,000	907,000	1,353,000	334,000	1,830,000	

⑤ 小水力発電事業

本事業では、ふくしま水道事業ビジョンで掲げる基本方針に基づき、水道水の安定供給を確保しながら、位置エネルギーを利用した小水力発電の導入（民設民営方式）により、積極的に環境負荷の低減に努め、「チャレンジ2050ゼロカーボンふくしま市」の実現を目指すものである。

<ふくしま北部配水池発電所>

二酸化炭素削減量	351.8 t-CO ₂
発電量	820,056 kWh